

# ノヤマ通信

vol.1 (2022.皐月)



## お知らせ

私たちノヤマカンパニーは、この度、ニュースレター「ノヤマ通信」を発行することにしました。団体を設立してからまる6年。今さら？という感じもしますが、ホームページやSNSなどを通じて行ってきた今までの情報発信のやり方だけでは不十分だな、と今は考えています。

何かを始めるのに遅すぎることはない、という誰かの名言を胸に、あたらしいタネをまいてみようと思います。

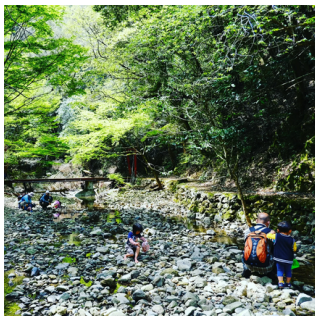
## 森のようちえんヒュッテ

【4月の活動：14日山の基地、18日桂川溪谷、21日タケノコ堀り（田中さんち）、28日歴博】

●市内で森のようちえん活動を始めてから、まる6年が経ちました。今年度もはりきって活動していきたいと思います。

●今年度初日の活動は、当初タケノコ堀りの予定でしたが、雨天のため、予定を入れ替えました。「今年はタケノコの生長が遅めだったからちょうどいいかも^^」と言っていたら、結局、延期日も雨模様。雨具を着用してタケノコ堀りに挑みました。

森のようちえんの活動は、一般的に天候に関わらず野外で活動をする場合が多いのですが、ヒュッテは3歳未満の小さい子が多く、乳児も参加する場合がありますので、天気予報はいつも気になります。結局天候には逆らえないので、参加メンバーに応じて与えられた状況でできる限りのことをやるしかないわけですが、常に考えながら運営しているか、天（自然）に試されているなあ、と感じることも時々あります。



▲桂川溪谷と歴博の日はとっても天気がよく、芽吹いた緑があざやかでした！



▲4/21 森のようちえんでタケノコ堀り

## 山の基地

【4月の活動：10日開放日、24日イベントDay※雨天中止】

●市内の方から「子どもたちの活動に使わんかな」と太めの木を玉切りしたものをたくさんいただいたので、林のエリアにアスレチックのようなものを作ってみました。子どもにもなかなか好評です。



●ドングリがなる木のほかに、桑などの果樹を何本か植えました。たくさん実がなったらジャムを作りたいな、と企んでいます。まだ小さな木を、ノウサギなどの動物からどう守るかというのが目下の課題です。

●4/19「草刈りに行くよ～」と連絡をもらい、Sさんに山の基地の草刈りに来ていただきました。自分たちは畑の手入れや、イベントの準備など別の作業ができたのでとっても助かりました。草刈りしたくてウズウズしている人、随時募集していますのでお気軽にご連絡ください（笑）。

●小屋のウッドデッキのそばに、新たにハシゴをつくりました！でも実際に使ってみると、使い心地の悪さが発覚しました。具合の悪いハシゴとはどんなものかを知る教材として、しばらく展示（？）しておきます。気を付けて昇り降りしてみてください。



## ✿✿ その他の活動

●4/2、宇和運動公園に整備された「生誕の森林」エリアで市が主催する植樹イベントが行われました。私たちは、令和2年度にお子さん生まれた世帯の方が記念植樹するのに合わせて、簡単な野遊びの紹介をしました（過去にノヤマカンパニーの活動に参加されたことがある方との、久しぶりの再会もありました^^）。



ちょっと気になったのは、「市の木だから」ということでブナが植樹されていたこと。ブナはこのあたりでは、本来もっと標高の高いところに生える木です。木も生きものですから、すくすく育つには育ちやすい環境を整えてやる必要があります。土地や気候にあわせて植える木を選ぶといったことを意識し、よりよい形で植樹活動が行われるといいな、と思いました。（大地と生きものとのつながりを伝えるのも、大切なジオパーク活動の一つですから）

●昨年度、市から委託を受けてノヤマカンパニーが企画・編集していた四国西予ジオパークのフリーマガジン『だいちのめ』の第2号が発行され、四国西予ジオミュージアムのオープンにあわせて、配布が始まりました。



今回の特集のテーマは、「地域の“食”を考える」で、学校給食での地産地消や、市内の家庭から排出される食品ロスの実態などを取り上げています。市内の公共施設やお店などで入手が可能ですが、必要な方は直接お渡しすることもできます。お気軽にお声かけください〜い！（まとまった数をご入用の場合は、市役所のジオパーク推進室0894-62-6408へご連絡をお願いします）

## 📖 おすすめの本

最近、久々に『コジコジ』（さくらももこ作）を図書館で借りて読みました。学校のテストでひどい点（-5点）をとったコジコジは、先生から「毎日いったい何をしているのか」と問われます。コジコジが「空を飛んで遊び、お菓子を食べて、山や海へ行って遊んだり、寝たりしてるよ」と答えると、先生は、「遊んで食べて寝てるだけじゃないか！」と怒ります。それに対して、「盗みや殺しやサギなんかしてないよ。遊んで食べて寝てるだけだよ、なんで悪いの？」と返すコジコジ。

ここで、私は一気に自分の子育てをズームアウトして観察することになります。片づけをしないことや約束を守らないことなど、いろんな理由で子どもたちを叱ることも多いのですが、そんなに叱らなくてもよかったのかもなと思うこともしばしば。盗みや殺しやサギもしてないですし…。いや、でも叱るところは、叱らないと！など、心の中でしばし右往左往します。

時に、子育て書と言われる本よりも、漫画など一見関係なさそうなものが、子育てでくたくたになった心を解放し、別の視点を与えてくれることがあります。私は、最近出版された『コジコジにきいてみた。モヤモヤ問答集』という本を買ってしまいました（笑）。少しだけ漢字を読めるようになった長女（小2）も食いつき、一緒に読んでいます。

よかったら、みなさんのおすすめの本なども教えてくださいね！〈ち〉

## 🐼 よもやま話

今年度から、地元の皆田小学校の学校運営協議会の委員に選ばれました。軽い気持ちで引き受けたのですが、肩書は「保護者代表」というなかなか重たいものでした…。（そもそも保護者って誰かが代表ができるものなのか、という気もしますが）

学校と地域がともに知恵を出し合い、「地域とともにある学校づくり」を目指すのが学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）。PTAや学校評議員制度など、他の制度とどう違うのか、といった基礎的なことから学び、何ができるかなあと考えているところです。〈ゆ〉



<発行> 一般社団法人  
ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1  
noyama.company@gmail.com